

常任委員会での協議内容（平成27年8月分）

No	議会報告会での市民からの主な意見等	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での協議内容等
1	日本年金機構における年金情報の流出問題に関連して、マイナンバー制度の導入後に情報の流出がないようチェックしてほしい。	現在のところ国から明確な情報はないが、きちんとチェックしていきたい。	市では情報流出を防ぐため、事務処理を行うシステムと個人情報を扱うシステムを分離している。また、ウイルス対策や外部端末の使用制限、職員対象のセキュリティー研修を行っている。
2	市内には多くの公共施設があるので、太陽光発電や風力などの再生可能エネルギー設備の設置は可能だと思う。	改築された小・中学校には、太陽光や風力発電を設置している。これまでも議会では、市役所での再生可能エネルギー設備の設置について、執行部と協議しており、今後も進めていきたい。	既存建物に設置する場合、新たに荷重計算が必要となり、工事等に多額の費用を要することから、当面は考えていない。今後新たに建築する公共施設には、費用対効果を見極めながら設置を進めていきたい。
3	JR美川駅について、足の不自由な高齢者は階段の利用に四苦八苦しており、以前からエレベーターの設置を要望しているが整備されない。1階から直接ホームに行けるようにすれば、片方ではあるが階段を上げらずに乗車ができるのではないか。	このことは各町内会からも聞いているが、関係機関との調整もあり、難しい問題である。	これまでもJRに対して、美川駅のバリアフリー化を要望しているが、1日当たりの乗降客が3,000人以上という要件があるため、整備対象外になっている。なお、下り線については、駅に連絡すれば駅員が鍵を開け、ホームにあるフェンスの扉から、直接外に出ることができ、上り線については2日前までに駅に連絡すれば、小松駅から職員が来て階段の利用を介助する。
4	美川地域の高齢化率は非常に高く、空き家や空き地等が多くなっているため、活性化策をしっかりと行ってほしい。	市でも分析しているので、活性化策に期待したい。	美川地域の空き家率は白山ろく地域に次いで2番目に高くなっている。これまで白山ろく地域を対象としていた空き家バンク制度を、来年度から市内全域に広げる予定をしている。
5	デジタル防災行政無線について、何を言っているのか全然聞き取れない。その原因として防災行政無線の音質や、窓がペアガラスや二重サッシなどになっていることも考えられるので、音声告知放送と連動することはできないか。	デジタル防災行政無線が聞こえないという声をもとに、スピーカーをふやすことや向きをかえるなどの調整をしている。音声告知放送は希望者のみに設置しているので、連動については執行部とも協議したい。	松任、鶴来地域の連動については、今年度整備する防災行政無線のシステム改修に合わせて、避難勧告、避難指示、Jアラートといった緊急放送について連携を図ることとしている。

No	議会報告会での市民からの主な意見等	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での現状確認と協議内容等
6	災害時要援護者台帳システムに関する名簿の作成について、地区社会福祉協議会と連携して取り組んでほしい。	地区社協のない地区もあり、町内会と民生委員の協力や連携が必要となる。	民生委員や町内会が協力して実態把握、あるいは災害時に要支援者を避難所へ案内することが肝要。8月の民生委員協議会で高齢者、要支援者の実態調査についての説明会を開催しているところである。
7	地区公民館が避難所に指定されているが、バリアフリーになっていないところが多いと思う。早急に整備すべきではないか。	先日の一般質問の答弁では、全庁挙げて取り組んでいくが、数値目標を設定できないということだった。執行部に意見を伝えて、最大限取り組んでいきたい。	新たに建設する公民館はバリアフリー対応を進めている。大規模改修を行う公民館については、できる限りバリアフリー化をしていきたい。
8	湊公民館は2階に大集会室があるため、行事を開催しても高齢者には不便で困っている。また、駐車場がほとんどないことや、坂道に公民館があり積雪時は危険なので、整備をお願いしたい。	文教福祉常任委員会と公民館連合会とで毎年意見交換会を実施している。さまざまな問題があるので、常任委員会でも議論していきたい。	湊公民館は平成25年度に耐震補強工事を実施しているが、2階での行事は足腰の弱い方々に不便をおかけしているが、整備については市内全域の公民館の状況を勘案しながら順次進めたい。
9	ヘルメットの購入助成は小学生のみか。中・高生も対象にできないか。	この助成は小学生にヘルメットを普及促進させることを目的にしている。中学、高校では学校指定のヘルメットのところもあり、調整が必要になると思うが、市に意見を伝えたい。	道路交通法に定めてある13歳以下の着用の努力義務も考慮し、着用習慣化のため、どの時期の助成が効果的なのか他の部局とも協議を始めている。
10	高齢化について、国、県、市の負担は大きくなっており、緊急の対策が必要だと思う。白山市としてはどのように考えているのか。	国は介護について、地域や在宅で支援する方向で進めている。市の包括ケア構想では、ケアの拠点を松任地域に2カ所、各地域に1カ所設置して地域全体で介護の必要な方を支援する予定である。	地域包括ケアシステムの構築に向けて、平成29年度末までに日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを設置し、機能の充実・強化を図ることとしている。

No	議会報告会での市民からの主な意見等	議会報告会での担当班の回答	常任委員会での現状確認と協議内容等
11	若宮公園は損傷が激しくなっている。市ではどこが管理し、今後どのような対策を考え、再整備する案があるのか。現場を視察してほしい。	市では公園緑地課が管理している。多くの市民が憩う場なので、危険箇所をきちんと報告し、速やかに対応したい。	若宮公園は開設後40年が経過し、老朽化が進んでいる。設置後10年が経過した遊具等は毎年診断調査を行い、更新や撤去をしている。引き続き定期的な診断調査を行い、施設の不具合の早期発見に努め、安全な利用を図っていきたい。
12	宮丸町地内の道の駅の完成に合わせて、松本・四十万線は平成29年までに全線開通するのか。また、松本・四十万線の部入道町の区間には街灯が全くなく、数年前には女子高生が襲われ、近くで殺人事件があったので街灯を整備してほしい。	松本・四十万線については、白山市側では今年度予算を計上して一部施工することになっているが、平成29年度までの全線開通は難しいことを聞いている。なお街灯の設置については、事件が発生しているので現地調査をして執行部に伝えたい。	松本・四十万線について、1本の道路としての事業化は困難。なお、道の駅のアクセス向上のため、周辺道路の整備については、引き続き県に要望していきたい。また、部入道町の街灯については、町内会と協議したい。
13	手取川の濁水の関係で、田んぼの防除に川水を汲んで撒いていたが、ノズルに泥が詰まるため、作業が非常に困難だった。町内にある消火栓を使うことはできないか。	緊急対策ということで消火栓の利用を市にも伝えていきたい。なお、JA白山が井戸を所有しているのであれば、JA白山に使えるかどうか確認してほしい。	農作業における消火栓の利用については、認めることはできないが、JA白山に井戸があるので、活用してほしい。